

御社名 _____

氏名 _____

会社ご住所 _____ TEL _____

マニュアル・カタログ等でブーメラン工法を、ご理解していただいたか確認チェックしていただき、講習修了書を発行（無料）いたします。ご不明点がございましたら、随時ご連絡下さい。

- | | |
|--|------|
| 1. 適用範囲 | チェック |
| 「ブーメラン工法」は、コンクリートの基礎を持つ3階建て以下の木造在来軸組構法住宅を対象とする。 | |
| 2. 適用図書 | チェック |
| 耐震診断・耐震計画は、(財)日本建築防災協会 刊行「木造住宅の診断と補強方法」(改訂版)の一般診断法・精密診断法を用いて、診断・計画を行なう。 | |
| 3. 基礎の種類 | チェック |
| ブーメラン工法でいう既存鉄筋基礎とは、コンクリート強度が 13.5 N/mm^2 以上の鉄筋コンクリートであり、計画段階でシュミットハンマーを用いてコンクリート強度を調査する。 13.5 N/mm^2 未満の場合は、無筋基礎と同じ方法を取りジベル付金物を用いて、増し打ち基礎補強を行う。 | |
| 4. 無筋基礎の場合 | チェック |
| 既存基礎が、無筋基礎及び鉄筋基礎で 13.5 N/mm^2 未満の場合は、各種ジベル付金物を用いて、日本建築防災協会発行「木造住宅の耐震診断と補強方法」に従って、増し打ち基礎補強を行う。 | |
| 5. 既存住宅に、M12アンカーボルトがない・不足している場合 | チェック |
| 鉄筋基礎にはガードアンカー12、無筋基礎にはガードアンカージベル12を用いて、後付けアンカーボルトとして使用する。 | |
| 6. ホールドダウン金物と筋かい金物を複合して使う場合 | チェック |
| 現行法では、ホールドダウンと筋かい金物を、別々の金物で取付けると定義されていますがブーメラン工法では同時に補強することが評価されています。この補強方法としては、ガードブーメランアンカー20・25または、ガードブーメランビスアンカー25・30を用いて補強する。 | |
| 7. ホールドダウン金物だけを付けたい場合 | チェック |
| 後付けホールドダウン金物のみを付ける場合、20~30KN同等のホールドダウン金物が評価されており、ガードピースホールドダウン20・25または、ガードホールドダウン25・30の製品がある。 | |
| 8. 取付け方法 = 基礎について = | チェック |
| 基礎への取付けは、全ての製品が基礎の横面から取付ける。M12ケミカルアンカー用とM16ケミカルアンカー用の2種類がある。M12の場合、ハンマードリルで15mmの穴を基礎面から90mm穿孔し、孔内を掃除した後、樹脂系カプセル(打込み式)を挿入しM12全ネジボルトをハンマーで打設し取付ける。M16の場合は、19mmの穴を基礎面から90mm穿孔し同様にM16全ネジを基礎に取り付ける。 | |
| 9. 取付け方法 = 柱について = | チェック |
| 柱への取付け方法は、ボルトタイプの場合UKボルトー2本、または、M12コーチスクリュー3本を用い、ビスタイプの場合は、M6ビス(当社付属品)を所定の本数で柱に金物を取付ける。 | |

確認チェックができましたら、(株)ウエハラまでFAXをしてください。

FAX.048-523-3931 